



東経連ビジネスセンター パリエアショー2019 出展支援の実施について

東経連ビジネスセンター（会長 向田 吉広）は、下記により、パリエアショー2019に東北ブースを設置し、東北の企業・研究機関の出展を支援いたします。

記

1. 航空機産業支援

世界の航空機利用客数は年率4.5%の成長が見込まれており、航空機産業は成長産業と位置付けられています。東北地域では、航空機認証取得企業が2011年16社から2018年54社に増えるなど、航空機産業に参入し実績を積む企業数が拡大しています。

東経連ビジネスセンターでは、航空機産業参入企業が稼ぐ力を高めるための支援に取り組んでゆきます。（*詳細添付資料①参照）

2. パリエアショー概要

英国のファンボローエアショーと交互に隔年で開催される世界最大の航空宇宙産業展示会。

日 時：2019年6月17日（月）～ 6月23日（日）

場 所：フランス共和国、パリ市郊外 ル・ブルジェ空港

出展予定企業数：2,453社/48カ国

出展予定の日系企業数：40社

【前回実績】 展示航空機数：約140機

来場者数 トレードビジター：約142,000人

パブリックビジター：約180,000人

3. 出展者及び出展目的：

新潟県を含む東北地域7県において航空機産業への参入の実績を持つ企業が、世界最大の展示会に出展することで、日本の他地域から出展している企業と情報交換はもとより、欧米の最先端技術の動向、アジア企業の取組み等、情報収集と、それら企業とのネットワークの確立、更には将来的なビジネスパートナー候補の発掘にチャレンジします。

出展者	特色と目的
アキモク鉄工（株） （秋田県能代市）	塩分を洗い流すバブル洗浄機を開発し、防衛省に採用された。 世界最大の展示会で営業活動を行う。*詳細は添付資料②参照
Niigata Sky Project （新潟市）	共同受注グループ「NSCA」を組織し、共同工場で操業中。 昨年末、中核企業「新潟エアロスペース（株）」を設立。 世界最大の展示会で営業活動を行う。*詳細は添付資料③参照
本田精機（株） （宮城県仙台市）	宮城県のクラスター「エアーズみやぎ」に所属し、航空機部品を製造する企業への生産設備及び治工具を納入している。 出展企業とのパイプ作りを目指す。*詳細は添付資料④参照
東北大学 流体科学研究所	他の学術機関との交流と、産学連携パートナーの発掘を目指す。

以上

*添付資料① 東経連ビジネスセンター 航空機産業支援の基本的考え方

添付資料② アキモク鉄工、 添付資料③ 新潟市、 添付資料④ 本田精機

【ご照会先】 東経連ビジネスセンター 芦谷・東山

TEL：022-397-9098 FAX：022-262-7055



添付資料①

国際競争力の高い航空宇宙産業の集積強化を目指して ～東経連ビジネスセンター 航空機産業支援の基本的考え方～

東経連ビジネスセンター

一般社団法人東北経済連合会では 2017 年に新ビジョン「わきたつ東北」を掲げ、航空宇宙産業を、東北地域の活性化を図るための必要な産業の一つと位置付けています。

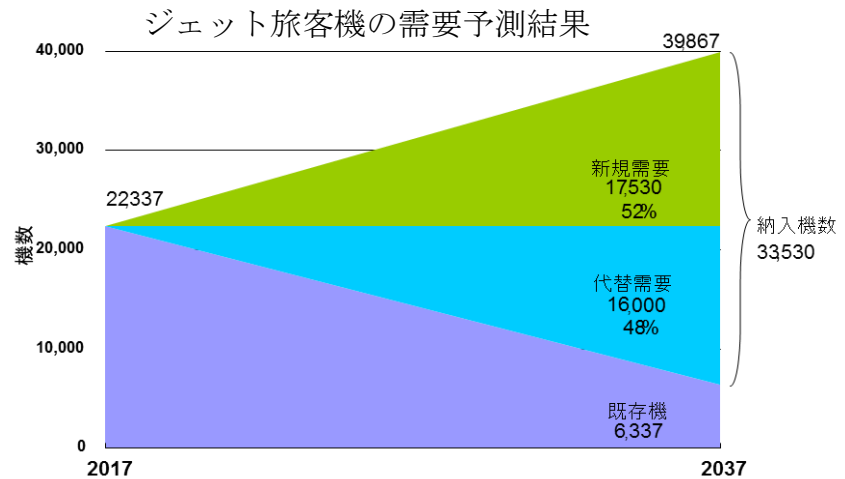
これを受けて、東経連ビジネスセンターでは、東北地域の航空機産業の現状を踏まえ、長期的視点から他の支援機関と連携した効果的な支援を進めてゆきます。

1. 世界の航空機産業

- 世界の航空機産業の市場規模は、2017 年実績で機体等 50 兆円、MRO（メンテナンス等の市場）25 兆円。

世界の経済成長により航空機利用客の年率 4.5%の増加が見込まれており、運航機数は 2017 年の 22,337 機から 2037 年には約 40,000 機に拡大する見込み。

- 新興国を中心とした経済成長により航空機市場は長期的安定成長が見込まれている。



出典：(一財) 日本航空機開発協会

2. 日本・東北の航空機産業の現状

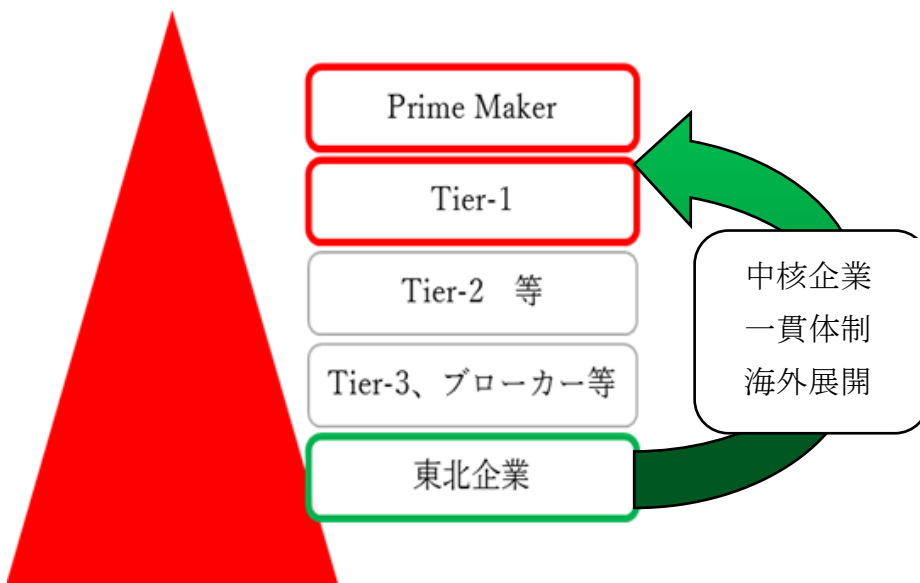
- 日本の航空機産業の市場規模は 2017 年実績で約 2 兆円。その内、東北 6 県の出荷額は約 1300 億円だが、その約 95%を占める大手航空機エンジンメーカーIHI を除くと約 100 億円となる。
- 東北経済産業局と東北航空宇宙産業研究会（平成 19 年 10 月設立）が支援機関の中心となり、各自治体と協力しながら、以下の成果を上げてきている。
 - ① 国内の Tier-2/3 企業や商社の下請けとして、小物部品や製造治具の納入により航空機産業への参入が増加し、経験・実績を積み上げてきた。
 - ② 航空機認証 (JISQ9100) の取得企業が 2011 年 16 社→2018 年 54 社 (+新潟県 17 社) に増加。また、中小企業 4 社が Nadcap を取得。中核企業の候補となる企業が見えてきた。

3. 東経連ビジネスセンターの支援の基本スタンス

航空機産業へ参入した企業数の拡大を受け、稼ぐ力を高めるために、孫請け企業が付加価値を更に高めていくための道筋の一つとして、他の企業と連携して高付加価値のモジュールの一貫生産を行える体制づくりの推進に取り組む。



- ① 航空機認証取得企業を中核企業候補に位置づけ、東北地域の地場企業を中心に企業連携を進め、航空機モジュールの一貫生産体制の構築を目指す。
- ② プライムメーカー、Tier1 企業等に直接アプローチして、国内下請け・孫請けからの脱却を目指す。
- ③ 国内市場（2兆円）から、より大きな海外市場（50兆円）への展開までも視野に入れ、先行する欧米に学びながら、着実な成長を目指し、支援してゆく。（他の支援機関と連携した長期的支援を行う）



4. 東経連ビジネスセンターの具体的支援策

- 産学官金サロン（学＝技術・人材、官金＝支援）を開催し、川下企業や学术界から講師陣を招き、業界の最新トレンドや先端技術につき情報を共有する。また、経験・実績を積んだ中堅中小企業によるビジネスノウハウの紹介を行い、交流を行うことで、産学官金が一体となり地域の産業を盛り上げる機会を提供する。
- 海外展示会に出展することにより、日系を含めた大手川下企業、新規取引先候補の開拓を後押しする。また、電動化や複合材の活用による軽量化など、世界の最先端の技術動向を把握し、更には、海外の連携企業体や中核企業のあり姿を学び、情報共有することで、意識改革を促す。
- 専門知識、業界経験の豊富なコーディネーター（川下企業OB等）によるマッチング、技術交流、セミナー開催、販路開拓などのサポートを行う。

以 上



添付資料②

会社名：アキモク鉄工（株）

【出展目的】

- （１）航空機及び車両等の塩害防止用塩分洗浄装置「ハイパーウォッシャー」の販売
- （２）航空機用整備機材 GSE 製品の受注に関する営業

【展示品】

- （１）ハイパーウォッシャーの製品情報を動画による紹介及びパネルによる展示
- （２）航空機用整備機材の製造実績に関するパネル展示

【アピールしたい強み】

- （１）弊社が提供するファインバブル噴射型の塩分洗浄装置「ハイパーウォッシャー」は、以下の通り高圧洗浄機に対して優位な特徴があります。
 - ・ ファインバブル（50 ミクロン以下の微細空気泡）を混入した水流を噴射して洗浄対象物に付着した塩分（塩の結晶や塩化物イオン）を除去することが可能であり、洗浄剤等を使用しないため環境負担の無い塩分洗浄が可能。
 - ・ ファインバブル噴射の有効距離が10m以上の長距離で、能率の良い洗浄作業が可能。
 - ・ 必要な動力源は空圧のみで（0.6MP）作動し、電源不要なため漏電のリスクが無い。
 - ・ 噴射水流の吐出し圧力が0.6Mp以下の低圧洗浄であり、洗浄対象物を破損しない。
- （２）機械製品製造工場と溶接構造物製造工場を併設した一貫生産体制で、AS9100:D 認証取得による品質管理で製品を提供する。



添付資料③

新潟市報道資料

令和元年6月7日

報道各位

新潟市成長産業支援課

パリエアショーへの新潟市出展について

新潟市では、航空機産業の集積に向けて NIIGATA SKY PROJECT として各種事業を行っており、販路拡大に向けた取組として世界最大の航空産業展示会であるパリエアショーに出展いたします。本市ではこれまで2009年より4回連続でパリエアショーに単独出展をしており、情報収集と事業PRを行っていましたが、直近では個別の商談に目的を変え、アメリカ、カナダ、台湾への訪問による航空機メーカー及び部品メーカーへの面談を実施していました。

新潟市では今年1月に地域の航空機部品製造を取りまとめ、国内外への販路拡大を目的とする「新潟エアロスペース株式会社」が事業開始したことに伴い、当社と連携PRと本市で稼働する航空機部品共同工場の紹介を目的としてパリエアショーに出展いたします。

また、この度は東経連ビジネスセンターの出展ブースに参加することから、今後は東北地方の企業との連携も検討していきます。

展示内容

1. 新潟エアロスペース株式会社 企業概要

所在地	新潟市中央区下大川前通四ノ町2230番地12		
代表者	代表取締役社長 小林 和之		
設立	平成30年7月	(増資完了	平成31年1月)
出資金	6,000万円	出資者	敦井産業株式会社 双日エアロスペース株式会社 株式会社日本政策投資銀行
事業内容	航空機部品の販売、製造		

2. 新潟市戦略的複合共同工場

所在地	新潟市南区北田中		
面積	2,880㎡	操業開始	平成29年4月
入居企業	新潟メタリコン工業(株) (表面処理業) 柿崎機械(株) (切削加工) 佐渡精密(株) (切削加工)		
製造品目	航空機機体部品、航空機エンジン部品、航空機装備品部品		

【お問い合わせ先】

新潟市成長産業支援課

担当 宮崎・五十嵐

(電話) 025-226-1694 (直通)



添付資料④

【本田精機株式会社】

弊社は、創業以来地元仙台を拠点に任せられる喜びをやりがいにオンリーワンのメイドインジャパン『ものづくり』を半世紀以上に渡って行って参りました。

得意とする生産設備機械の機械部品は、生産される製品の種類や条件・環境・品質等によって様々な仕様があり、これらの生産設備機械1台当たりに用いられる機械部品は、多いもので数千点から数万点にもなり、これらは航空機関連の部品や治工具等にも通じるところがあると考えられます。航空機産業への進出に先駆けて2015年に品質マネジメントシステム規格『JIS Q 9100』を取得。併せて航空機部品の生産体制確立を目的とした新設工場の操業を2016年に開始致しました。

そこで今回は出展にあたり海外企業との直接的な取引実績等がございませんので、まずは日本国内を中心とした1次・2次サプライヤー企業様と幅広く面談を行い、弊社が長年培った少量単品多品種の機械部品に於ける機械加工技術を積極的にアピールしたいと存じます。

弊社の展示ブースに於いては切削加工技術を用いた航空機向けサンプル部品を展示致しております。高精度五軸加工機を用いて試作加工を行った難削材（チタン）によるインペラ加工部品及び高精度五面加工機を用いたアルミ材のウイングリブ部品となっております。

強みと致しましては、受注生産方式による機械設計・加工、溶接、溶断、板金加工、表面処理、組立、調整試験、据付工事等の諸工程を一貫した生産体制を有しており、『ものづくり』に関する幅広い技術を提供することが可能となっております。

航空機産業向けと致しましては、主にマシニングセンタ（高精度5軸加工機）等を用いた複合加工による試作加工部品及び治工具類の製造を得意としております。

世界の最先端技術の展示会に出展することにより、国内外市場に於ける弊社の知名度の向上を図るとともに最先端シーズ・ニーズの情報収集を行い、弊社の加工技術を次世代へと繋ぎ、今後航空機産業へ本格的に参入が出来るよう対応して行きたいと考えております。

ご来場の多くの企業様へアピールが出来ればと考えております。